

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学校巡回展事業「いのちの本展 ～ みんないっしょに生きている ～」
事業主体 (連絡先)	本と子どもの発達を考える会 (会長 越高 令子 事務局 松本市沢村 3-4-41 ちいさいおうち書店内 電話 0263-36-5053)
事業区分	(1) ③ 教育、文化の新興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	451,386円 (うち支援: 310,000円)

事業内容

いのちをテーマにした絵本の学校巡回展。
松本市内の小学校と協働、絵本を通して、子どもたちが人権尊重・障害理解・いのちの大切さを学ぶ機会を提供。<きもち><大切ないのち><病気の子どもたち><あなたのまわりのいろいろな人>をテーマに選定した絵本89冊＋先生向けに(職員室展示用)発達障害等の理解促進のための専門書31冊 計120冊を希望のある学校に無料貸出。
いのちの出前授業の受託も併行。H23・24年度元気づくり支援金「支援の必要な子どもたちのための本展」事業を進展。同事業は併行し、自立継続。H25年度 年間20回展示。



【学校巡回展 児童が絵本を読む様子】

事業効果

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

平成25年度 目標4校実施のところ
松本市内 公立小学校7校にて巡回展示 (目標の75%増)
6月～ 展示セット装備 7月 1校目実施
8～9月 案内リーフレット&手引き作成(1校目の写真使用)
9月～ 学都松本フォーラム、公開講座、研修会等にて紹介展示
10月 松本市校長会にて案内、実施希望校募集
10～2月 6校巡回
※ 見学者概算 300名×7校=2,100名 (対H24年度比300%増)
※ うち1校で4学年児童80名対象に「いのちの出前授業」実施
※ 児童の感想より / みんないっしょに生きているいいなあ～と
思いました。大切な命を自分で守ろうと思いました。

【目標・ねらい】

- 子どもたちが絵本を通して人権尊重・障害理解・いのちの大切さを学ぶ機会の提供。
- 発達障害理解促進
- 民間団体と学校との協働促進
- あらゆる子どもの福祉の向上
- 多様性理解の促進

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

障害や病気への理解促進を目的に、H22 自主事業、H23・24 年度元気づくり支援金事業として取り組んできた「支援の必要な子どもたちのための本展」は H25 年度、展示実績 20 回(うち貸出8回)、前年同様、H22 年度当初実績の 300%増を達成、自立継続事業となりました。進展事業 H25 年度元気づくり支援金活用 学校巡回展事業も目標の4校を超える7校での巡回が実現したように、学校からの反響も大きく、各学校と協働して多くの子どもたちに実際に絵本を見てもらうことができました。来年度巡回の予約も数件、既にいただいております。H26 年度以降は両事業を併行して自立継続していきます。合わせて、これまで通り、読み聞かせによる発達支援事業、講演事業、子育て支援事業、障害理解のための公開講座等も継続展開していきます。